

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年4月11日（月）

2 確認箇所

F1タンクエリア

3 確認項目

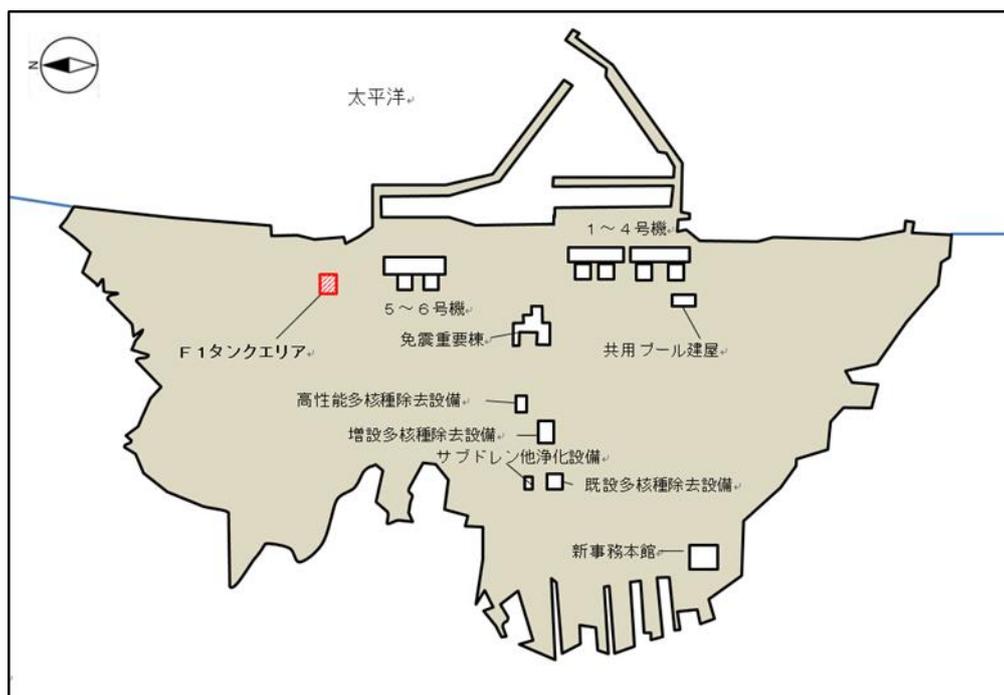
F1タンクエリアのフランジタンクからの漏えい状況

4 確認結果の概要

令和4年3月17日のタンクパトロールにおいて、F1タンクエリアの6基のタンク（H6、I2、I7、J3、J4及びJ6）のフランジ部より水の漏えいが確認され、その後、漏えい箇所が補修されたことから、現場の状況を確認したところ、5基のタンク（I2、I3、J3、J4及びJ6）において、漏えいしているとみられる箇所を確認したため、東京電力に漏えい状況について情報提供するとともに、その後の状況を確認した。（図1）（写真1）

- ・ I2タンクでは、南東側の1段目の下部のフランジ接合部より数秒に1滴程度の速度で水が滴下していた。（写真2）
- ・ I3タンクでは、西側の1段目の下部のフランジ接合部より30秒に1滴程度の速度で水が滴下していた。（写真3）
- ・ J3タンクでは、南側の2段目の上部のフランジ接合部より10秒に1滴程度の速度で水が滴下していた。（写真4）
- ・ J4タンクでは、南側の2段目の上部のフランジ接合部より1、2分に1滴程度の速度で水が滴下しており、西側の3段目の上部のフランジ接合部より2、3分に1滴程度の速度で水が滴下していた。（写真5）
- ・ J6タンクでは、南側の1段目の下部に水が滲んでいると思しき箇所が確認された。（写真6）
- ・ 各タンクから漏えいした水は全て堰内に留まっており、確認した範囲で外部には流出していなかった。
- ・ 東京電力では、数名の職員で現場を確認し、その結果、漏えい箇所に受けパンを設置して漏えいの拡大を防止した上で、漏えい箇所を養生するとした。（写真7）

なお、その後の東京電力からの情報にて、漏えいした水はスミア測定の結果、バックグラウンドと同等程度であったこと、J3、J4、I2及びI3タンクについては、受けパン及び養生の設置が完了し、J6タンクについては、滲みを拭き取りの上、経過観察を行うとのことである。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
F1タンクエリア内の状況
(中央から南西側に向かって撮影)



(写真2)
I2タンクの水の滴下を確認した箇所
の状況
(タンクの南東側)



(写真3)
I 3タンクの水の滴下を確認した箇所
の状況
(タンクの西側)



(写真4-1)
J 3タンクの水の滴下を確認した箇所
の状況
(タンクの南側)



(写真4-2)
J 3タンクの水の滴下を確認した箇所
の下部の状況



(写真5-1)
J 4タンクの水の滴下を確認した箇所①
の状況
(タンクの南側)



(写真5-2)

J 4タンクの水の滴下を確認した箇所①の下部の状況



(写真5-3)

J 4タンクの水の滴下を確認した箇所②の状況
(タンクの西側)



(写真5-4)

J 4タンクの水の滴下を確認した箇所②の下部の状況



(写真6)

J 6タンク周囲の水が滲んでいる箇所の状況
(タンクの南側)



(写真7)
東京電力職員による現場確認の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。